

※定員のある事業については、6月1日から(9:00～17:00まで、日・祝は除く)受付します。先着順のため定員になりしだい締め切ります。幼児については、保護者同伴でお願いします。必ず上靴を持ってきてね!

日	時間	事業名	内容	定員
6月 4日(土) 11日(土) 18日(土) 25日(土)	14:00～16:00	子ども広場	「将棋広場」 ～初めての人・少しでも興味を持った人は、 気軽に参加してください～ 対 象：おおむね小学1年生～6年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし
6月23日(木)	10:00～11:30	子育てセミナー	「親子体操」 ～親子で楽しく体を動かそう!～ 講 師：山本尚明氏(体育文化指導協会) 場 所：青少年児童センター 体育館 持 物：水筒・タオル・着替え・親子とも体育館シューズ ※定員はありませんが、初めての方は事前に申し込みが必要です。	なし
6月25日(土)	10:00～11:30	おもしろ教室	「七夕飾りを作ろう!」 ～折り紙で笹や飾りを作ります!～ 対 象：幼児・小学生(ただし、幼児は保護者同伴) 持 物：はさみ	15人

サラダボール

『きらりはびきの』に参加して

忙しい日々を送っている中で、程度の差はあれ自分のことしか考えていない人がいかに多いかということに驚かされます。自分自身も人のことよりもまずは自分・・・になっているかもしれない、という思いを持ちながら、昨年11月に開催された「きらりはびきの～男女共同参画フォーラム&人権を考える市民の集い～」に参加しました。講師の佐藤初女さんを初めて拝見しましたが、89歳とは思えない頭の回転の速さに驚かされました。次々と繰り出される言葉と物静かな語り方で、優しく包み込まれるようなお話に引きつけられました。

初女さんは、30年前から青森県弘前市で、苦しみを抱えた人々たちを、その土地でとれた新鮮なものを使った手料理でもてなし、訪れた人の話に耳を傾けています。ただ横で話を聞いているのでは

なく、その人の話を聞きながら自分の体験を思い出し、共感しながら聞いているのだそうです。共感をする事で、信頼を得ることができ、訪問者の心に詰まっていたものが全部とれ、その人に新しい考えが浮かんでくるのだそうです。

また、手料理でのおもてなしは、訪問者の話を聞いているうちに、初女さん自身お腹が空いたということから始まったそうです。「食べることと、食べる人の心境は同じ」と、心に何かか詰まっている人は、まったく食べようとはしないそうです。何も食べられなかった人が、話をしているうちに食べられるようになってくれば、心のつかえがとれた証で、その人は、今度は人のために何かをしたくなるのだそうです。

講演の中で、一番印象に残っているこ

と、それは「出会いは未来を切り拓く」という言葉です。出会いこそ尊いもので、出会いを通じて、自分で何かを感じ、新しいものを発見できるというのです。そして、出会った人と、心と心を通わせることができれば、良い出会いになる、と。

出会いの機会は日常のあらゆるところにあります。この出会いを意識して良いものにしようと心掛けたら、今まで気づかなかった出会いや再会に遭遇できるかもしれません。お互いに傷つけ合うのではなく、心と心を通わせることで、多くの人が良い出会いと再会を繰り返し、人生をより豊かにできたら、と切に願います。「忙しい、忙しい」とばかり言っているのではなく、より多くの人が出会いに「感謝」できますように。

(人権推進課)